

工大祭に寄す

6631 古木のぼる

A「大学祭っていうのは、やっぱり派手にやらないと意味がないだろう。そういう意味では、工大祭は、例年、つまらないものになっっている。」

B「たしかにそうだ。しかし、派手なばかりが能じゃない。三田や駒場をみても、やたらとウヤムヤテル凶という感じで、疲れる。」

A「お前、駒馬祭行ったのか。」

B「いや。」

A「あほ、見ないでゆいな、ちやのに。」

B「たとえばの話として言ったんだ。」

A「理由になっでない。」

B「それはそうと、大学祭にも、いろんな行き方があるっていいと思う。」

A「しかし、だからといって、工大祭のようにシボフレたのが、大学祭と言えるかどうかい。」

B「工大祭のどこがシボいんだ。サークル教や学生教を考えると仕方なからう。」

A「でも、模擬店の教だって、展示、講演の教だって、シボいやんけ。」

B「あればあれでいいんじゃない。」

A「ところでサイクリング部は何をしたの。」

B「知らん。」

A「お前、責任者たるし。」

B「何でも、聞くと二子によると、講堂のわきで。」

A「だんごか何か売ってたらしいぜ。」

A「よくやるよ。それで、もうかっただのか。」

B「10人で4日間働いて、二万千ボ位は、もうかっただけらしい。」

A「ご苦労さま」

B「まったく」

A「それで、何かいい事あったのか」

B「全然。昔の彼女も采なかつたしな」

A「ザマミロ」

B「何を言うか。女も^か歴らんで」

A「うるせえ、人の事言えるか。大体な、工

大に入つたからには、工大の星となるまで、

女なんかには目もくぬんのじゃ」

B「ウメボシみたいな顔して」

A「顔のことは言うな、ちやのに。……えー

と、何について話してたんだけ」

B「アホじゃのう、お前は。工大祭だ工大祭」

A「そうそう、だから結局、あれでいいのだ」

B「ハーカー、ヤッキと並じゃねえか」

A「そうか。問題はたな、その……何た……」

B「何が言いたい」

A「結局、学生の意識が薄いということだ」

B「それは言える」

A「要するに、気合が足りんのだ」

B「言える」

A「その上、工大祭が、当局と学友会の政争の具

になつていふことだ」

B「その通り」

A「プラス、工大祭自体の知名度不足」

B「同感」

A「それらの条件が重なつて生ずる悪循環」

B「そう、そう」

A「この現実を前に、我々は、当局^{から}団体として

要求を克ちとる斗いを行なおうと思ひます」

B「まったく、おめえと話をしていると疲れ
るぞ。」

A「へへー」

B「ところで、お前は何部だ」

A「サイクリング部」

B「何で、おまえもサイクリング部だったのか」

A「そうさ。ちゃんとロッカーもあるぞ」

B「それにしても部屋で念ねえな」

A「だって学校行ってないモン」

B「あゝあ」

A「けどさ、クラブの行事には参加してるよ」

B「うむ」

A「オ、楽しいしな」

B「おう」

A「先輩も、おもしろいのがいっぱいいるし」

B「お前、そんなこと言うと、この原稿がボツ
になるぞ」

A「かまわん、かまわん。……それに、部長の

Tという人は……」

B「えーと、とにかく今年の工大祭は、」

A「一年生だけで」

B「がんばったのであります」

二回生(特別出演)「オレたちも手伝ったぞ」

四回生のHさん「ちゃんわちゃんわ」

A「みんなで何かやるということとは」

B「めんどうくさくて、かったるいけれど」

A「おもしろくて、ためになるのです」

B「それではみなさん」

A「お、ゴーキーゲイナーヨー……」

⑤登場人物はすべて仮名です。悪しからず。
会誌もすべて「ク」で統一です。

特別 ⑧ 付録

サイクリング部の工大祭 モギ店のおべた

ダンゴ部 売上 約1000本, 1本50円. 仕入れ35円

コーヒー部 } 70円 売上 約500カップ
甘酒部 }

レンタサイクル部 30分50円

受験生相談部 申し込み殺到するも、結局ひとり。
↑ウソ。

その他: ポップコーン部 1コ70円 → 50円 売上不明
あまり売れなかった。

やはり、日曜日にも 純益1万ぐらいあった。

全純益 2万3400円位
動いたお金 8万円位

Staff:

委員長 兼 会計ちゃん 大塚氏

ダンゴ部 佐藤氏 曾我部氏

コーヒー部 三浦氏 小野氏 小島氏
甘酒部

レンタサイクル部 吉田氏、涌島氏 小島氏は
電気関係も兼任

受験生相談部 鈴木氏 古木

アドバイス 二年生諸兄、および四年生の日比野氏

来年の1年生諸君、がんばってね〜